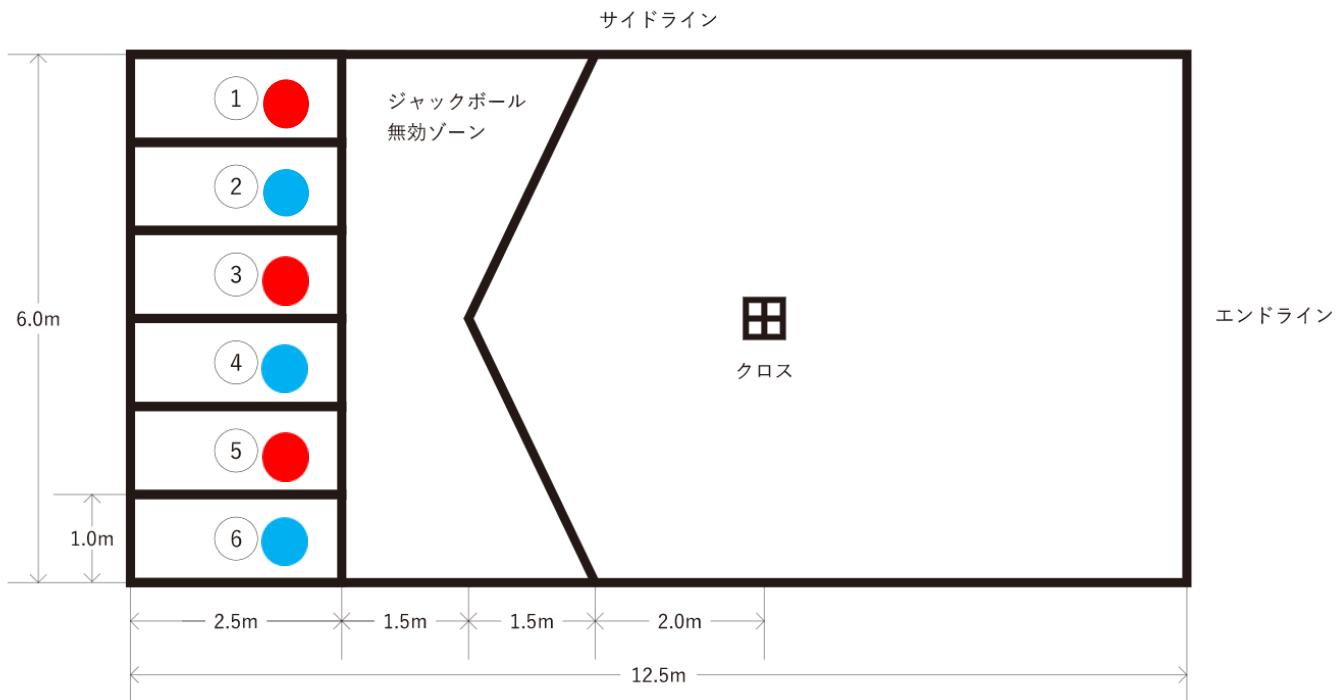


大津市スポーツ推進委員協議会 スマイルボッチャ大会ルール

1. コート バドミントンのダブルスのコートを使用

(※コートサイズは以下のサイズと少し異なります)



2. 大会ルール

- ・1チーム3名で構成し、2チームでの対戦とします。
 - ・1コート4チームの総当たりで、最も勝ち数の多いチームをコート1位とします。
 - ・勝ち数が同数の場合は、3試合の得点合計数の多いチームを1位とします。
 - ・3試合の得点合計数も同点の場合は、代表者1名のジャンケンで1位を決めます。
 - ・コート1位同士による決勝戦は行いません。
 - ・エンド中の選手交代や投球ボックスの移動はできません。
 - ・マイボール禁止
 - ・大津市スポーツ推進委員協議会独自のレクリエーションルールで行います。

3. 大津市スポーツ推進ボッチャ独自ルール

- ・1試合2エンド制。
 - ・1エンドは赤チームが先攻とし、2エンドは青チームが先攻。
 - ・ひとり自色のボールを2個ずつ投球。
 - ・2エンドの合計点で得点の高いチームが勝利。
 - ・2エンド終了後、同点の場合は、タイブレークでクロスの白ジャックボールに各1球を投球し、より近いチームの勝利。(得点は加算しない)
 - ・初球の白ジャックボールが無効ゾーンで止まるほか、サイドライン、エンドライン(ライン上もアウト)を超えた場合は、白ジャックボールの投球権利は相手チームに移る。
 - ・試合中、押し出されて白ジャックボールが無効ゾーンに移動のほか、サイドライン、エ

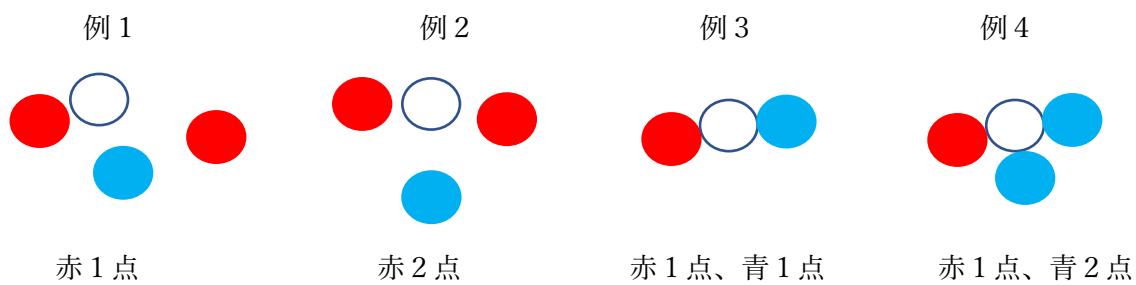
- ンドライン（ライン上もアウト）を超えた場合は、白ジャックボールをクロスに置きなおし、プレーを継続。
- ・試合中、自投および押し出され、ラインの外に出た（ライン上も含む）カラーボールについては、コート外に回収する。
 - ・投球時、ラインを踏んだときや審判の合図の前に投球したときなどはファウルとします。

4. 進 行

- ・両チームじゃんけんで、先行、後攻を決めます。
- ・先攻チームは赤、後攻チームは青になります。
- ・1 エンド目①が白ジャックボールを投げます。
- ・次に同じ①が赤ボールを投げます。
- ・次は青チームが青ボールを投げます。②④⑥で話し合い、誰が投げても結構です。
- ・次は白ジャックボールに遠いチームが投げます。以降白ジャックボールに最も近いチームの相手チームが投げます。
- ・全員のボールがなくなるまで投球します。
- ・2 エンド目は、⑥が白ジャックボールを投げます。
- ・次に同じ⑥が青ボールを投げます。
- ・次は赤チームが赤ボールを投げます。①③⑤で話し合い、誰が投げても結構です。
- ・次は白ジャックボールに遠いチームが投げます。以降白ジャックボールに最も近いチームの相手チームが投げます。
- ・全員のボールがなくなるまで投球します。

5. 得点の例

- ・白ジャックボールに、より近いチームに得点権利。
- ・白ジャックボールに最も近いボール（チーム）に1点。
- ・上記に加え、相手チームボールより白ジャックボールに近いボールの数だけ加点。



☆ボールを大切に扱いましょう。壁に投げつけたり、踏んだりしません。

☆相手チームの投球時は、一歩下がり静かにしましょう。

☆良いプレーが出たときは相手チームであってもみんなで賞賛し、投球ミスがあったときは責めたりしません。

☆障害者スポーツの理解と、生涯スポーツの楽しさを広げましょう。